

# 【研究ノート】 日韓ドイツ語学習者の比較調査研究<sup>1)</sup>

吉 満 たか子

広島大学外国語教育研究センター

## 1. はじめに

日本語と韓国語は文法や語彙において共通点も多く、双方とも独自の文字を持っている。いずれもゲルマン系言語であるドイツ語との間には大きな「距離」があり、また日本および韓国からドイツやオーストリア、スイスといったドイツ語圏への地理的な距離も同様に大きい。ドイツ語は言語学的・地理的に見て、日本人にも韓国人にも同様に「遠い」言語なのである。したがって、ドイツ語を学習することは、日本人にとっても韓国人にとっても同様の困難さがあると言えよう。

しかし、ドイツへの留学生数やドイツでの学位取得者数を比べてみると、韓国はいずれも日本を大きく上回っている<sup>2)</sup>。また、筆者は2006年にハンブルク大学アジア・アフリカ研究所が主催するドイツ語サマースクールを見学したが、高いレベルのクラスになればなるほど韓国人参加者の数が増え、またどのクラスにおいても、日本人に比べ韓国人のほうが積極的に発話や質問をしている印象を受けた。このような差異がどこから来るのかを調査するため、ドイツ語を学ぶ日本人と韓国人を対象にアンケートとインタビューを行った。本稿ではそのアンケート調査の結果を紹介する。

## 2. 調査対象および方法

調査の対象となったのは、2008年8月にハンブルク大学アジア・アフリカ研究所が開催したドイツ語サマースクールに参加した日本人と韓国人である。このサマースクールには韓国から毎年30名程度の参加者があるとのことであったが、ウォン安の影響でこの年の参加者は20名であった。そのうち12名が調査参加への呼び掛けに応じてくれ、またアジア・アフリカ研究所の講師であるイ・カンスン氏の紹介で、同年の4月よりハンブルク大学に留学している韓国人学生2名も調査に参加してくれた。また、調査の対象となった韓国人と同じレベルのクラスで学ぶ日本人にも協力を呼びかけ、14名から回答を得ることができた。また、同年4月からハンブルク大学に留学している日本人1名からも回答を得た。アンケートはそれぞれの母語である日本語と韓国語で行った。

## 3. 回答者のプロフィール

アンケートでは、まず回答者のプロフィールを尋ねた。プロフィールにおいて大きく異なった点は、韓国人回答者14名中9名がすでに高校でドイツ語を学んでいることである。韓国人回答者が高校で学習した総時間数を算出<sup>3)</sup>すると、平均で約148時間となった。これに対し、日本人回答者で中学または高校でドイツ語を学んだ者は一人もいなかった。

大学での専攻科目は、韓国人回答者の14名中12名がドイツ語であったが、日本人回答者のうちドイツ語を専攻しているのは15名中3名であった。そのため大学での1年あたりの学習時間は、韓国人回答者の平均が約176時間、日本人回答者の平均<sup>4)</sup>は95時間であった。

【日本人回答者のプロフィール】

	性別	年齢	学部／学科 専攻科目等	中高での ドイツ語学習歴	大学での ドイツ語学習	これまでの海外滞在歴
J1	女	20	総合科学部	無	週4コマ×1年	中2の時にイギリスに2週間ホームステイ 高校の修学旅行：ニュージーランドで2週間ファームステイ
J2	女	23	文学部 ドイツ文学	無	週5コマ×2年 週1コマ×1年	2006年：ウィーンの語学学校に1ヶ月
J3	男	19	法律学科	無	週1コマ×1年半	無
J4	男	21	経済学	無	週2コマ×1年 週1コマ×1年	無
J5	女	19	文学部 言語学	無	週1コマ×1年	無
J6	女	21	日本文化学科	無	週2コマ×1年半	2003年：イギリスで1ヶ月の英語研修 2007年：ハンブルク大学サマースクールに1ヶ月
J7	男	23	経済	無	週2コマ×1年半	2007年：シンガポールに1週間の旅行
J8	女	22	芸術学科	無	週2コマ×2年半	無
J9	女	19	文学部 ドイツ文化	無	週3コマ×1年	無
J10	女	22	日本文化学科	無	週2コマ×2年	2007年：ハンブルク大学サマースクールに1ヶ月
J11	女	21	日本文化学科 言語学	無	週2コマ×2年	2007年：ハンブルク大学サマースクールに1ヶ月
J12	女	20	国際文化	無	週2コマ×2年	無
J13	女	21	理学部 数学科	無	週2コマ×1年 週1コマ×半年	1993-1997年：父親の転勤に伴い、ドイツに滞在
J14	女	24	ドイツ文学	無	週2コマ×1年 週1コマ×2年	3回のドイツ旅行 (3週間・10日間・8日間)
J15	男	21	教養学部 ヨーロッパ文化	無	週3コマ×3年	2002年：修学旅行でアメリカでホームステイ

【韓国人回答者のプロフィール】

	性別	年齢	学部／学科 専攻科目等	中高での ドイツ語学習歴	ドイツ語学習	これまでの海外滞在歴
K1	女	22	史学科	高校で45分週 1コマ×1年	50分×週4コマ ×1 Semester	無
K2	男	25	ドイツ語学科	高校で50分週 2コマ×2年	50分×週10コマ ×3年	2007年：ロンドンで9ヶ月 の語学研修 2008年：ドイツのマイン ツ、旅行で1ヶ月
K3	女	22	ドイツ語学科	無	120分×週3コマ ×2年	2006年：ボンのゲーテ・イ ンステイトゥートで1ヶ月 の語学研修
K4	男	25	ドイツ語学科	無	120分×週3コマ ×2年	無
K5	男	24	ドイツ語学科	無	50分×週5コマ ×1年半	1996年：アメリカの大学に 1ヶ月
K6	女	19	ドイツ語学科	無	50分×週3コマ ×1年半	無
K7	女	21	ドイツ語 ドイツ文学	高校で45分週 2コマ×2年	180分×4コマ× 2年半	無
K8	男	25	ドイツ語学科	高校で50分週 4コマ×2年	50分×10コマ× 4年	無
K9	男	25	ドイツ語学科	高校で週2コ マ×2年	週4コマ×2年	無
K10	女	20	政治外交学科	高校で45分週 10コマ×3年	50分×週6コマ ×1年半	小学校の時、父親の転勤に 伴い6年間オーストラリア に滞在
K11	女	21	ドイツ語学科	高校で45分週 5～7コマ× 3年	50分×週8コマ ×1年	無
K12	女	20	ドイツ語学科	高校で45分週 6～7コマ× 3年	50分×週8コマ ×1年	1994－1997年：父親の転勤 に伴い3年間フランクフル トに滞在 1997－1998年：父親の転勤 でアムステルダムに9ヶ月 滞在
K13	女	23	ドイツ語 通訳翻訳学科	無	50分×週5コマ ×半年	無
K14	女	24	ドイツ語学科	高校で50分週 1コマ×2年	120分×週3コマ ×3年	2006－2007年：カナダで6 か月の語学研修

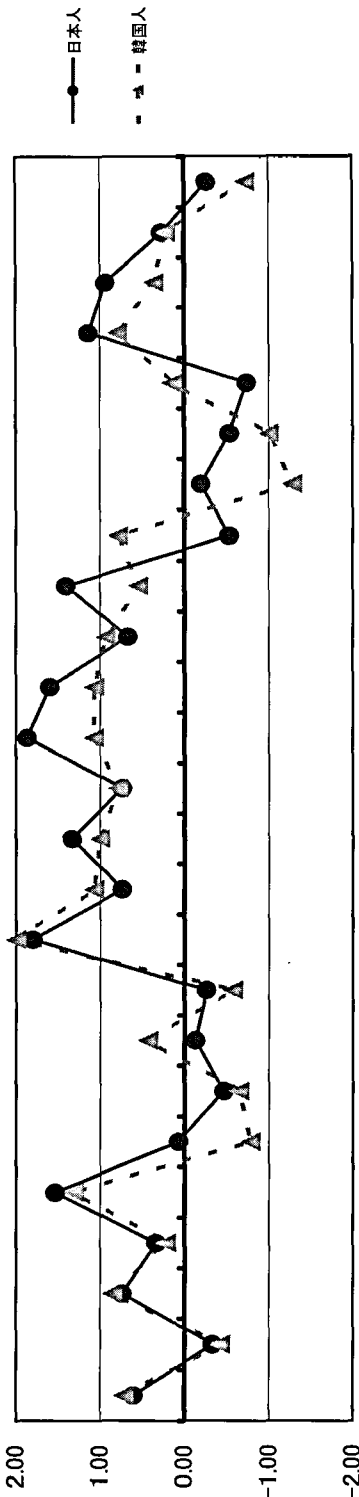
#### 4. ドイツ語を学ぶ理由について

ドイツ語を学ぶ理由として次の24項目を挙げ、それぞれについて「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の5段階で回答してもらった。

1. ドイツ語は世界にとって重要な言語だ
2. ドイツ語は日本/韓国の社会にとって重要な言語だ
3. 将来、仕事等で役に立つかもしれない
4. 専門分野の研究で必要だから
5. 今後ドイツに旅行するか、留学してみたいから
6. 将来、ドイツに移住したいから
7. ドイツに行ったことがあるから
8. ドイツ語話者の知り合い（親戚・友人）がいる
9. ドイツ語圏に知り合い（親戚・友人）が住んでいる
10. ドイツ人とコミュニケーションできるようになりたい
11. ドイツのポップカルチャー（音楽・音楽ビデオ・流行等）を知りたい
12. ドイツ文化（文学・演劇・映画・芸術等）に関心がある
13. ドイツの社会（環境政策・社会保障・EU等）に関心がある
14. ドイツ語を学ぶことそれ自体が楽しい
15. 言語としてのドイツ語に関心がある
16. このまま続けていけばある程度のレベルに到達するという見通しがある
17. 日本/韓国の社会や文化を外から眺める視点を持てるから
18. 英語ができるようになって楽しかったからドイツ語も学びたくなった
19. 英語ができなかったので、新しい言語を一から学びたかった
20. 英語を初めて学んだ時に比べ、ドイツ語は簡単そうだった
21. ドイツ語を話せる人が周りにいてうらやましいと思った
22. 今までのドイツ語授業が楽しかった
23. ドイツ語の先生が好きだった
24. ドイツ語の教材がおもしろい
25. 頭の訓練になると思うから

図1は、この5段階を、「よくあてはまる」= 2, 「ややあてはまる」= 1, 「どちらとも言えない」= 0, 「あまりあてはまらない」= -1, 「まったくあてはまらない」= -2 に置き換え、それぞれの回答の平均値をグラフにしたものである。

日本人、韓国人ともに「ドイツ人とコミュニケーションができるようになりたい」という理由の数値が最も高かった。日本人回答者の場合、「ドイツ語を学ぶこと自体が楽しいから」と「言語としてのドイツ語に関心があるから」も高い数値を示しているが、韓国人回答者ではやや低い数値となっている。また、「英語ができるようになったので新しい言語を学びたかった」という理由の数値については、韓国人回答者では0.79であったのに対し、日本人回答者では-0.53と大きな差が見られた。



- 1. ドイツ語は世界にとって重要な言語だから
- 2. ドイツ語は日本/韓国にとって重要な言語だから
- 3. 将来仕事等で役立つかもしれないから
- 4. 専門分野の研究が必要だから
- 5. 今後ドイツに旅行する必要があるから
- 6. 将来ドイツに移住したいから
- 7. ドイツに行ったことがあるから
- 8. ドイツ語話者の知り合い(親戚・友人)がいるから
- 9. ドイツ語圏に知り合い(親戚・友人)がいるから
- 10. ドイツ人とコミュニケーションが得意になりたいから
- 11. ドイツの文化(文学・演劇・映画芸術)に興味があるから
- 12. ドイツの社会(環境政策・社会保障・EU等)に興味があるから
- 13. ドイツのポップカルチャー(音楽・漫画・映画芸術)に興味があるから
- 14. ドイツ語を学ぶことが楽しいから
- 15. 言語としてのドイツ語に興味があるから
- 16. ある程度のレベルに到達する意欲があるから
- 17. 日本/韓国とドイツ語に共通点があるから
- 18. 英語ができるようになったので、新しい言語を学びたいから
- 19. 英語ができるようになったので、新しい言語を学びたいから
- 20. 英語ができるようになったので、新しい言語を学びたいから
- 21. 英語に比べてドイツ語は簡単そうだったから
- 22. 今までのドイツ語の授業が楽しかったから
- 23. ドイツ語の先生が好きだったから
- 24. ドイツ語の教材が面白いから
- 25. 頭の訓練になると思っているから

図1 ドイツ語を学ぶ理由

	理由1	理由2	理由3	理由4	理由5	理由6	理由7	理由8	理由9	理由10	理由11	理由12	理由13
日本人	0.60	-0.33	0.73	0.33	1.53	0.07	-0.47	-0.13	-0.27	1.80	0.73	1.33	0.73
韓国人	0.71	-0.43	0.86	0.21	1.31	-0.79	-0.64	0.43	-0.57	2.00	1.07	1.00	0.79

	理由14	理由15	理由16	理由17	理由18	理由19	理由20	理由21	理由22	理由23	理由24	理由25
日本人	1.87	1.60	0.67	1.40	-0.53	-0.20	-0.53	-0.73	1.13	0.93	0.27	-0.27
韓国人	1.07	1.07	0.93	0.54	0.79	-1.29	-1.00	0.14	0.79	0.36	0.21	-0.71

## 5. 授業以外でドイツ語を使う機会について

授業以外でドイツ語を使う機会について次の8項目を挙げ、それぞれ「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の5段階で回答してもらった。また、この5段階を、「よくあてはまる」= 2、「ややあてはまる」= 1、「どちらとも言えない」= 0、「あまりあてはまらない」= -1、「まったくあてはまらない」= -2に置き換え、それぞれの回答の平均値をグラフにした(図2)。

1. ドイツ語で話をする知り合いがいる
2. ドイツの新聞、雑誌、文学を読むことがある
3. ドイツのポップカルチャー(音楽等)に触れることがある
4. ドイツの映画、ビデオなどを見ることある
5. インターネットのドイツ語サイトにアクセスすることある
6. ドイツ語でメールをする知り合いがいる
7. 個人的にドイツ語を習っている(タンデム等)
8. ドイツ語圏出身の留学生のチューターをしている

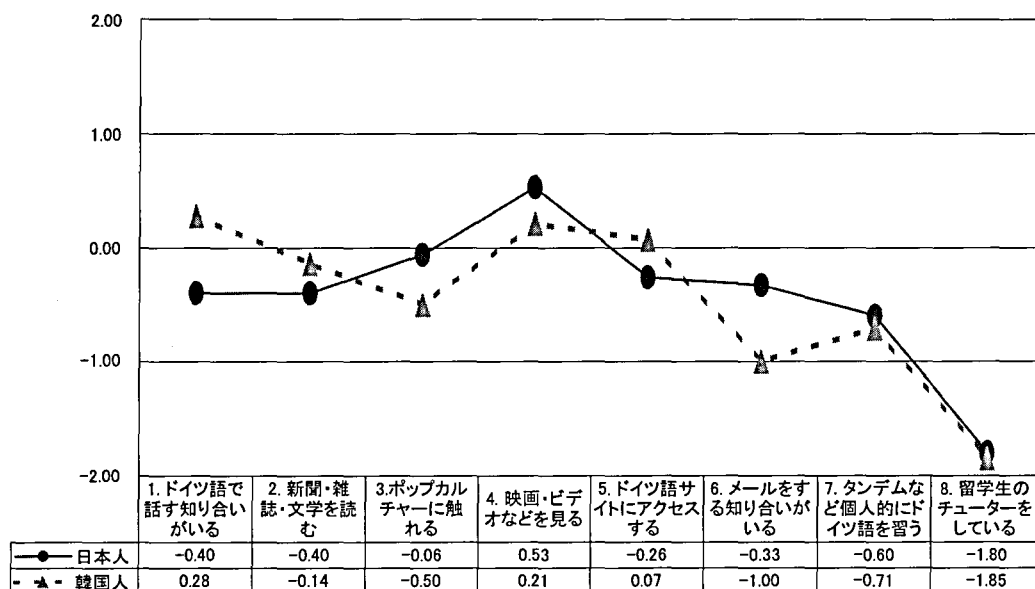


図2 授業以外でドイツ語を使う機会

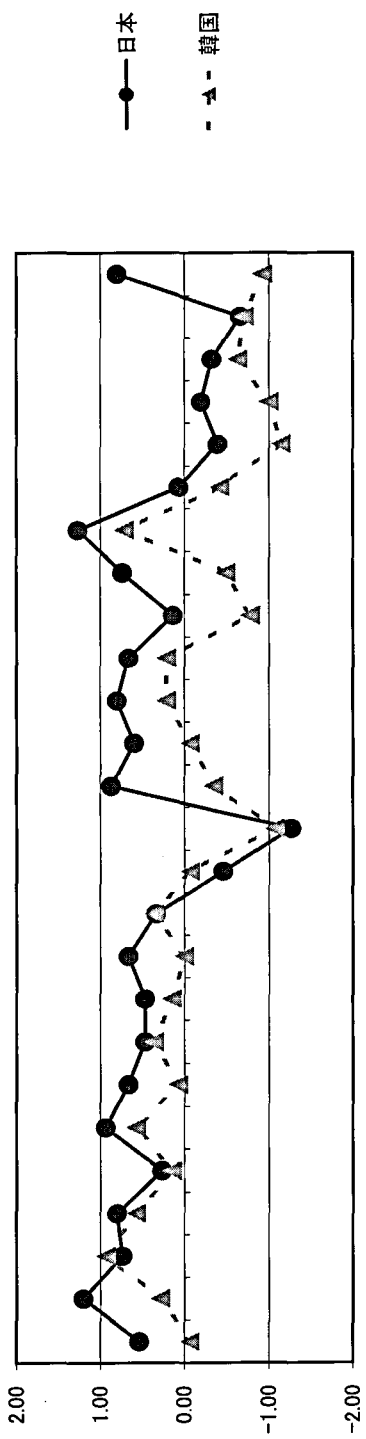
授業以外でドイツ語を使う機会は、日本人回答者、韓国人回答者いずれもあまりないようである。日本でも韓国でも「ドイツの映画やビデオを見ること」が最も手軽にドイツ語に触れる機会であろうことは容易に推測できる。

## 6. 学習上の問題点

回答者が学習上どのような問題点を持っているかを知るべく、次の26項目を挙げ、それぞれ「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の5段階で回答してもらった。また、回答を「よくあてはまる」= 2、「ややあてはまる」= 1、「どちらとも言えない」= 0、「あまりあてはまらない」= -1、「まったくあてはまらない」= -2に置き換え、それぞれの回答の平均値をグラフにした(図3)。

1. 単語の綴りを見てもうまく発音できない
2. わかっているもうまく発音できない音がある
3. 単語のアクセントの位置がよくわからない
4. 文のレベルでのアクセントやイントネーションがよくわからない
5. 動詞の活用が覚えられない
6. 名詞に付加される冠詞類の活用が覚えられない
7. 冠詞の適切な使い方がわからない
8. 前置詞の使い方がよくわからない
9. 受動態がよくわからない
10. 関係代名詞がよくわからない
11. 副詞をどこに置けばよいかわからない
12. 語順がよくわからない
13. 辞書を引こうと思っても、何を調べたらよいかわからない
14. 単語がなかなか覚えられない
15. 個々の単語はわかっても、それを適切な文脈で使うことができない
16. 長い文になると、文の構造がわからない
17. 長い文になると全体の意味が読み取れない
18. 読んでいて一つでもわからない単語があると、気になって先に進めない
19. 目で見たら理解できる内容でも、聞くとさっぱりわからない
20. ノーマルスピードのドイツ語を聞くと頭が混乱し、思考が停止する
21. 何か言おうとしても、適切な単語が出てこず話せない
22. 何か言おうとしても、文法などに自信がなくて話せない
23. ミスしてはいけないという気持ちが邪魔をして話せない
24. わからないことがあってもすぐに質問できる人が身近にいない
25. 自習や勉強の仕方がわからない
26. 今のまま勉強してもドイツ語をマスターできるようになるか不安だ

ほぼすべての問題点において、日本人回答者の数値が韓国人回答者のそれを上回っている。これは、挙げられた項目を自分自身の問題と感じている度合いが高いことを示している。「単語がなかなか覚えられない」、「目で見たら理解できる内容でも、聞くとさっぱりわからない」、「今のまま勉強してもドイツ語をマスターできるようになるか不安だ」ではおいて大きな差が出ている。特に「今のまま勉強してもドイツ語をマスターできるようになるか不安だ」については、韓国人回答者では2名のみが「ややあてはまる」と回答したにすぎず、5名が「まったくあてはまらない」、5



1. 単語の綴りを見てもらう発音で書けない
2. わかっていてもあまり発音で書けない音がある
3. 単語の活用が覚えられない
4. 文のレベルでのアクセントの位置がよくわからない
5. 動詞の活用が覚えられない
6. 名詞に付加される冠詞類の活用が覚えられない
7. 冠詞の適切な使い方がわからない
8. 前置詞の使い方がわからない
9. 受動態の使い方がわからない
10. 関係代名詞がよくわからない
11. 動詞をどこに置けばよいかわからない
12. 語順をどこに置けばよいかわからない
13. 辞書を引くことができない
14. 単語がなかなか覚えられない
15. 単語を適切な文脈で使えない
16. 長い文になると、文の構造がわからない
17. 長い文になると、文の意味が読めない
18. わからない単語があると先に進めない
19. 自分でみたら理解できる内容でも、聞くとさっぱりわからない
20. ノーマルスピードで聞くとも聞き取れない
21. 何か言おうとしても適切な単語が出てこず話せない
22. 何か言おうとしても文法などに自信がなく話せない
23. ミスしてはいけないという気持ちがない
24. すぐに質問できる人が身近にいない
25. 自習や勉強の仕方がわからない
26. ドイツ語をマスターできるか不安

図3 学習上の問題点

	問題点1	問題点2	問題点3	問題点4	問題点5	問題点6	問題点7	問題点8	問題点9	問題点10	問題点11	問題点12	問題点13
日本人	0.53	1.20	0.73	0.80	0.27	0.93	0.67	0.47	0.47	0.67	0.33	-0.47	-1.27
韓国人	-0.07	0.29	0.93	0.57	0.14	0.57	0.07	0.36	0.14	0.00	0.36	-0.07	-1.07

	問題点14	問題点15	問題点16	問題点17	問題点18	問題点19	問題点20	問題点21	問題点22	問題点23	問題点24	問題点25	問題点26
日本人	0.87	0.60	0.80	0.67	0.13	0.73	1.27	0.07	-0.40	-0.20	-0.33	-0.67	0.80
韓国人	-0.36	-0.07	0.21	0.21	-0.79	-0.50	0.71	-0.43	-1.14	-1.00	-0.64	-0.71	-0.93

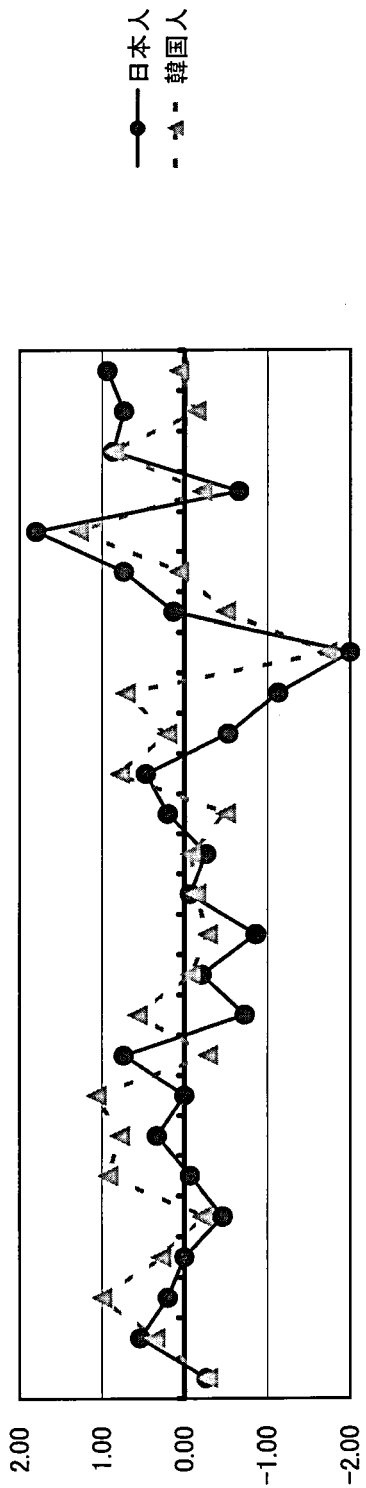


名が「あまりあてはまらない」、2名が「どちらともいえない」と回答している。これに対し、日本人回答者では、4名が「よくあてはまる」、4名が「ややあてはまる」、7名が「どちらともいえない」と回答している。

## 7. 学習の方法・スタイルについて

普段どのような方法やスタイルでドイツ語を学んでいるか、次の26項目を挙げ、それぞれ「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の5段階で回答してもらった。また、この5段階を、「よくあてはまる」=2、「ややあてはまる」=1、「どちらとも言えない」=0、「あまりあてはまらない」=-1、「まったくあてはまらない」=-2に置き換え、それぞれの回答の平均値をグラフにした(図4)。

1. 単語は単語帳や単語カードを作って覚える
2. 単語は書いて覚える
3. 単語はできるだけ例文と一緒に覚える
4. 関連性のある単語はまとめて覚える
5. 同意語・類義語・反意語をピックアップしてまとめて覚える
6. 単語は何度も発音して覚える
7. テキストを読む際には音読を心がける
8. テキストを読む際、辞書を引く前に全体に目を通す
9. テキストを読む際に、わからない単語は最初から辞書で引く
10. テキストを読む際に、理解にとって重要な単語に絞って辞書を引く
11. 授業以外に、自発的に関心のあるテキストを読む
12. ドイツ語のサイトをみることがある
13. 予習や復習では、ドイツ語を聞くことを重視している
14. 授業以外でも、教材のCDなどでドイツ語を聴くことがある
15. 授業以外で、好きなドイツの音楽等を聴くことがある
16. ドイツ語話者と話す機会を作るようにしている
17. ドイツ語話者とメールをする機会を作るようにしている
18. ドイツ語で簡単な日記を付けたことがある
19. ドイツ語のブログやサイトを作って発信したことがある
20. 予習をきちんとするようにしている
21. 復習をきちんとするようにしている
22. 宿題はきちんとするようにしている
23. 毎日一定時間ずつ勉強をしている
24. 勉強する時としない時でかなり波がある
25. 検定試験や資格試験など具体的な短期目標を持つことにしている
26. できるだけ多くの授業を履修し、勉強せざるを得ないようにしている



1. 単語は単語帳や単語カードを作って覚える
2. 単語は書いて覚える
3. 単語は度々も発音して覚える
4. 関連性のある単語はまとめて覚える
5. 同義語・類義語・反意語をまとめて覚える
6. 単語は引く前にも単語帳や単語カードを引く
7. テキストを覚える際、単語を引く前に単語帳や単語カードを引く
8. テキストを覚える際、単語を引く前に単語帳や単語カードを引く
9. テキストを覚える際、単語を引く前に単語帳や単語カードを引く
10. 読む際、わからない単語は辞書で引く
11. 読む際、わからない単語は辞書で引く
12. 授業以外に、自発的に単語を覚えることがある
13. ドイツ語のサイトを見る
14. 授業以外でも、教材のCDなどでドイツ語を聞く
15. 授業以外でも、教材のCDなどでドイツ語を聞く
16. 授業以外でも、教材のCDなどでドイツ語を聞く
17. ドイツ語のサイトを見る
18. ドイツ語のサイトを見る
19. ドイツ語のサイトを見る
20. ドイツ語のサイトを見る
21. 単語を覚えるようにしている
22. 単語を覚えるようにしている
23. 単語を覚えるようにしている
24. 単語を覚えるようにしている
25. 単語を覚えるようにしている
26. 単語を覚えるようにしている

図4 学習の仕方・スタイルについて

	学習法1	学習法2	学習法3	学習法4	学習法5	学習法6	学習法7	学習法8	学習法9	学習法10	学習法11	学習法12	学習法13
日本人	-0.27	0.53	0.20	0.00	-0.47	-0.07	0.33	0.00	0.73	-0.73	-0.21	-0.87	-0.07
韓国人	-0.29	0.36	1.00	0.29	-0.21	0.93	0.79	1.07	-0.29	0.57	-0.07	-0.29	-0.14

	学習法14	学習法15	学習法16	学習法17	学習法18	学習法19	学習法20	学習法21	学習法22	学習法23	学習法24	学習法25	学習法26
日本人	-0.27	0.20	0.47	-0.53	-1.13	-2.00	0.13	0.73	1.80	-0.67	0.87	0.73	0.93
韓国人	-0.07	-0.50	0.79	0.21	0.71	-1.71	-0.50	0.07	1.29	-0.21	0.86	-0.14	0.07

ここでは、単語の学習方法において差異が認められる。韓国人回答者は「単語はできるだけ例文と一緒に覚える」、「単語は何度も発音して覚える」、「テキストを読む際は音読を心がける」、「テキストを読む際、辞書を引く前に全体に目を通す」において比較的高い数値を示しているが、日本人回答者では、これらがいずれも低い値となっている。また、「テキストを読む際に、わからない単語は最初から辞書で引いていく」が日本人回答者では比較的高い数値であるのに対し、韓国人回答者では低い数値となっている。

最も大きな差異が見られたのは、「ドイツ語で簡単な日記を付けたことがある」という項目である。韓国人回答者14名のうち、4名が「よくあてはまる」、5名が「ややあてはまる」と回答しているが、日本人回答者では「よく当てはまる」は1名、「ややあてはまる」は2名のみで、他の12名は「あまりあてはまらない」もしくは「まったくあてはまらない」と回答している。

また、「検定試験や資格試験など具体的な短期目標を持つことにしている」と「できるだけ多くの授業を履修して、勉強せざるを得ないようにする」という項目が、日本人回答者では比較的高い数値を示しているが、韓国人回答者ではそれほどでもない。

## 8. 今後身につけたい能力について

今後のドイツ語学習において身につけたい能力として次の10項目を挙げ、それぞれ「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「どちらとも言えない」、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の5段階で回答してもらった。

1. ドイツ語圏の人と話せるようになる
2. ドイツの新聞・雑誌が読めるようになる
3. ドイツ文学が読めるようになる
4. ドイツの映画や演劇などが楽しめるようになる
5. ドイツの音楽や音楽ビデオが楽しめるようになる
6. インターネットのドイツ語サイトにアクセスできるようになる
7. ドイツ語のブログやサイト等を作って情報を発信する
8. ドイツ語でメールのやり取りができるようになる
9. ドイツ語の論文や専門書が読めるようになる
10. ドイツ語を仕事で使えるようになる

5段階による評価を、「よくあてはまる」= 2、「ややあてはまる」= 1、「どちらとも言えない」= 0、「あまりあてはまらない」= -1、「まったくあてはまらない」= -2に置き換え、それぞれの回答の平均値をグラフにした(図5)。

いずれの項目も、高い数値の回答を得ているが、「ドイツ語のブログやサイト等を作って情報を発信する」という項目については、韓国人回答者は比較的高い数値を示しているのに対し、日本人回答者では低い数値である。これは、韓国がネット社会であることを反映していると考えられる。また、「ドイツ語を仕事で使えるようになる」が韓国人回答者のほうが若干高い数値を示しているが、これは韓国人回答者の多くがドイツ語を専攻しており、将来的にドイツ語を使う職に就きたいとより強く考えていることを示している。

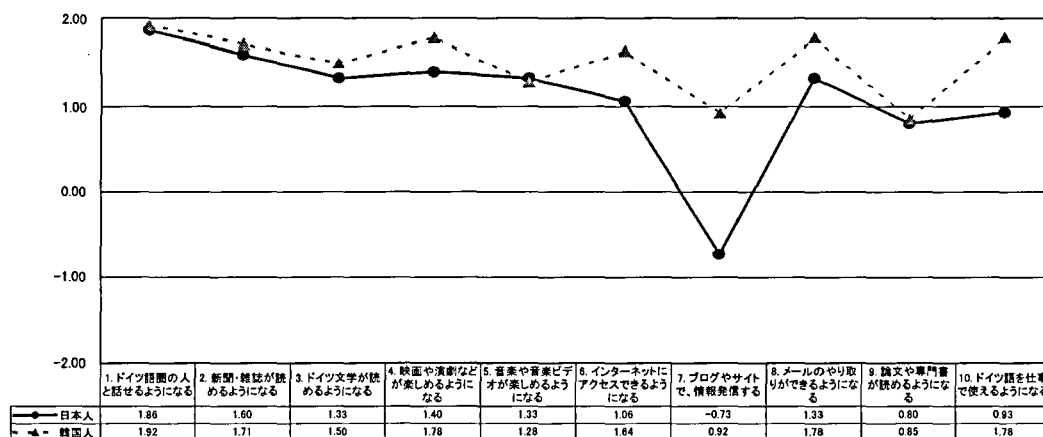


図5 今後身に付けたい能力

## 9. 今後の課題

今回の調査では、アンケートと同時にドイツ語によるインタビューも行った。インタビューで見られた日本人回答者と韓国人回答者の最も顕著な差異は、日本人は質問に対して必要最低限の答えしかしない傾向にあったが、韓国人は多くのことを語ろうとする傾向にあったということである。このことは、韓国人回答者の多くがすでに高等学校でドイツ語を学んでおり、また現在ドイツ語を専攻しているため、大学でドイツ語を学び始めた日本人回答者とはこれまでの学習時間が圧倒的に違うことが最も大きな要因であると推測できる。しかし、アンケートの結果からは、例えば日本人は「単語がなかなか覚えられない」、「目で見たら理解できる内容でも、聞くとさっぱりわからない」といった問題を抱える傾向が強く、韓国人の場合にはそうではないようである。また、韓国人回答者は「単語は何度も発音して覚え」、「テキストを読む際は音読を心がける」といった方法を用いて学習しているようであるが、日本人回答者はこのような方法をあまりとっていないようである。また、日本人回答者は「今のまま勉強してもドイツ語をマスターできるかどうか不安だ」と感じている傾向にあり、韓国人回答者ではこの傾向は見られなかった。これらのことから、学習時間もさることながら学習方法やモチベーションにおける差異が、コミュニケーション能力にも影響を及ぼしていることが窺える。

本稿では、アンケート調査から得られた日本人および韓国人回答者の大まかな傾向を紹介したが、今後の研究では、アンケートおよびインタビューの内容をさらに精査し、個々の回答者の到達度と学習時間や学習方法、モチベーション等との因果関係も検証したい。また、学習時間において大きな差異をもたらしている韓国の上高等学校における英語以外の外国語教育および大学入学試験、そしてモチベーションとも大いに関連している韓国におけるドイツ語の社会的位置づけや需用などの要因も合わせて更なる調査と考察を行いたい。

## 注

- 1) 平成20年度科学研究費補助金基盤研究(C) 19520490の成果の一部である。
- 2) DAAD(ドイツ学術交流会)の統計によれば、2007年度のドイツにおける韓国人留学生は5076名であり、日本人留学生は2,339名であった。また、2006年度にドイツで学位を取得した

韓国人は754名, 日本人は355名であった。

“Wissenschaft weltoffen” 参照：<http://www.wissenschaft-weltoffen.de/>

- 3) 1年あたりの授業期間を30週として計算した。
- 4) 1コマを90分として計算した。

## ABSTRACT

### Research Notes: Comparisons between Japanese and Korean Learners of German

Takako YOSHIMITSU  
Institute for Foreign Language Research and Education  
Hiroshima University

This article reports on differences and similarities between Japanese and Korean learners of German at a summer course of the University of Hamburg. A survey was conducted with the intention of gaining insights into the profiles, motivation, and difficulties which Japanese and Koreans possess when learning German and language-learning strategies.

A questionnaire was administered to 15 Japanese students and 14 Korean students who participated in the summer course held at the University of Hamburg in August 2008.

Some of the major findings are:

1. Most of the Korean students started to learn German during high school and are now majoring in German, whereas all of the Japanese students began to learn German in college.
2. The Japanese students tend to have more difficulties in learning German vocabulary than the Korean students do.
3. The Korean students tend to adopt strategies for learning vocabulary such as memorization in sentences, repeating utterances they have heard, and reading text out loud.
4. The Japanese students tend to have strong doubts about whether they can really master German even if they continue making efforts.